

ARCIP Web 理事長メッセージ

貧困・飢餓、気候変動を初めとする環境問題、天然資源の枯渇、教育などの格差拡大といった、世界的な諸課題の解決に向けたSDGsの提言が世界で共有され、日本国内では関連する各界の取組みが加速しています。

一方、地球環境問題の解決と経済の発展・成長のウィンウィンを目指した経済システムとして、EU や日本を中心に循環経済の取組みも進んでいます。

SDGs では 17 の目標が設定されていますが、持続可能な経済システムの視点で捉えなおしてみますと、循環経済はSDGsを実現するキードライバーの側面を持っていると言えるでしょう。

日本の強みを生かしつつ、循環経済の潮流も踏まえて自動車の 3R を推進することは、時代の要請と言えるのではないのでしょうか。

国内の自動車リサイクルに目を向けますと、国による審議会において、自動車を取り巻く社会環境が 100 年に一度の大変革期を迎えていることに言及されています。また、自動車業界では自動車のサプライチェーン全体で資源の高度な循環利用を確保していくことが重視されつつあります。

本財団は、もとより自動車リサイクル法運営組織としての社会的使命と責任を着実に担っていくことを本義としています。その上で、こうした世界のあらゆる地域における社会の動向や要請を見据えつつ、これまで積み上げてきた日本の経験や本財団の実績を生かしながら、一層の社会貢献を目指していくことも重要な使命であると考えます。

以上のような基本的理念のもとに、自動車由来の資源循環や 3 R に関する様々な課題の検討に寄与する情報基盤の整備、人的ネットワークの形成に向けた活動の拠点として設置したのが、自動車資源循環プラットフォーム(ARCIP)です。ARCIP の活動を通じて、本財団への皆様の期待と信頼を超える公益事業の実現に向けたチャレンジを進めていく所存です。

皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



以上